



# Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2020-2021年度 鯖江ロータリークラブ

2020-21年度 国際ロータリーテーマ

2019-20年度 第2650地区スローガン



ロータリーは  
機会の扉を開く

ロータリーの原点に戻る

誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ



鯖江ロータリークラブ会長方針

こころ一つに  
手と手繋いで

会長 野中 敏昭

第2963回  
2/26(金)

2月第4例会

点鐘:12:45

会員卓話

梅田会員・木村会員・酒井芳則会員

第2964回  
3/5(金)

3月第1例会

点鐘:12:45

テーマ「(仮)西山公園を利用した観光の在り方」

(一社)鯖江観光協会 専務理事

卓話 青山 英彦 様

第2965回  
3/12(金)

3月第2例会

点鐘:12:45

テーマ「(仮)鯖江市のSDGsの取り組みについて」

鯖江市地域おこし協力隊

卓話 川口 サマンサ 様

2/26(金)

第2963回  
例会報告

4つのテスト

出席率79.4%

鯖江商工会議所 4階大ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘  
四 つ の テ ス ト  
ロ ー タ リ ー ソ ン グ  
会 長 の 時 間  
幹 事 報 告 等  
プ ロ グ ラ ム  
閉 会 点 鐘

## ロータリーソング

### 我等の生業

口ずさむ程度にお歌いください。

## 本日のリモート出席者



帰山 明朗 会員



馬場 一彦 会員



野呂 和夫 会員



瀧谷 えみ子 会員

## 会長の時間

野中 敏昭 会長

皆様こんにちは。

まだまだ寒い日が続きますが、暦の上ではもう春。三方五湖では、一足早く春を告げる梅から、開花の知らせが届き始めています。

福井県は2月25日、独自に発令している新型コロナウイルスの「県感染拡大注意報」を28日で解除する見込みと報道されました。しかし、皆様気を緩めず、今しばらく頑張りましょう。

ところで、今日は2月26日ですが、何を連想されますか。1936年(昭和11)2月26日、「二・二六事件」が起きました。この事件以後の日本は、1941年(昭和16)12月8日に、ハワイの真珠湾を攻撃して、第2次世界大戦に突入して行くことになるのです。

国際ロータリーは、この第2次世界大戦をふくめて、1937年(昭和12)からの5年間に、ドイツ、イタリア、日本など33カ国で、484クラブと16,700人の会員を失いました。これは、当時の国際ロータリーの規模の10パーセントにあたります。日本のロータリークラブは先輩ロータリアンの努力によって戦時下の弾圧も乗り越え、戦後に生きる私たちに伝えられました。わが身の命の危険もあるのに、先人たちはなぜにそこまで例会を続け、ロータリークラブを存続させてきたのでしょうか。

ロータリークラブは最初、会員の親睦と相互扶助が目的だったものの、わずかなあいだに素晴らしい理念を獲得していきました。すなわち、「世の中が良くならなければ、自分たちの幸福もない」ということではないでしょうか。

それは、商売だけを考えても、すぐにわかります。たとえ最初自分の洋服屋が繁盛していても、布地を織る人、糸を紡ぐ人が倒産したなら、たちまち自分の店も洋服をつくれなくなるでしょう。まちに暮らす人びとが貧乏になれば、せっかくすてきな服をつくっても売れません。他人を幸福にしなければ、自分も幸福になれないのです。そのためには、自分がもつ知識や情報を相

手に差し上げ、相手の知識や情報をいただいて自分もよくなる努力をする。それは、人間性においても同じ論理だといえます。道路に落ちている紙くずを拾うことで、それまでなんの関係もなく通っていたあなたと私のあいだに、気持ちの良い町並みという共通の空間が生まれるのです。

戦時下で自分の命の危険もかえりみずに例会をつづけて、ロータリーを復活させた先輩ロータリアンの苦勞と情熱をふり返って、あらためてコロナ禍中、活動を通じて自分を磨き、ロータリアンとして活動していきましょう。

それは私たちいまのロータリアンが、21世紀という未来のロータリアンに、この素晴らしいロータリーの理念を伝える努めではないでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。

## 幹事報告



瀧ヶ花 秀晃 幹事

・先週2月20日(土)初めての試みである、「地区の職業奉仕講演会」を公開閲覧いたしました。鯖江商工会議所1階に於いて、タイトルは「人間とAI」、講師は荒牧秀知氏(ANAシステム(株)代表取締役社長)。

開会点鐘13:00。(13:00~15:00)

会員9名の出席を頂き、皆さんと一緒に閲覧しました。大変音響も良く、皆さんからの評価も良かったです。まだコロナ禍でZoomを使う機会が多くなると思いますので、これからもどんどんZoomを活用していきたいと思っております。その折には皆さんの出席をどうかお願いします。

# 会員卓話 梅田 吉臣 会員 ・ 木村 明 会員 ・ 酒井 芳則 会員



## 卓話 梅田 吉臣 会員 テーマ「人を使うというのは大変なことだ」

人を使うというのは自分の意図を理解し自分の分身のごとく動いてもらうことだが、これはなかなか簡単にはいかない。細かい指図をしなくてもほしいのことが回っていくにはそれなりの時間とエネルギーが使う側に求められるのである。日々怒鳴り散らしたり、威圧的に注意しても人はかえって委縮して言われたことだけを最低限こなす受け身そのものになってしまっ、それはそれで困るのである。とりわけ小売りの接客を主たる仕事とする場合、気持ちが入ってなければ顔つきからして沈むのである。ではソフトタッチでスタッフに接すれば今度は組みやすさということで伝えるべきことの半分くらいしか実現しないし詰めが甘くなる。人によって硬軟使い分けると不公平や依怙贖戻(エコヒイキ)の批判に直面することになる。

上下関係以上に厄介なのがスタッフ通しの関係である。そこを常に管理監視しておかないと仕事は円滑に進まない。労働観の違いというものはある程度許容範囲ではあるがそれでも仕事に意欲的な人と並の人とはお互いに不満を抱くことがありがちだ。例えば体調不良や家庭の事情でパートさんが欠勤する場合、一方でそれでも自分はやりくりしながら出勤してきたと考える人がいると、それだけで波風が立つ。使う側が欠勤を認めることにしても安易に流れると職場の在り方まで問われることになる。個々の人はみな常識的でいい人であってもそれだけでうまくいくことはまれである。スタッフ相互の労働観、労働規律の足並みがそろって初めて売り場に芯が入る。またそのように持っていくのが使う側の仕事でもある。

それでも日々人間関係は揺れ動くから多少の綾は生じる。ジュエリーや時計というのは販売ばかりではなく修理品の扱いもある。場合によっては高価なものも預かることがある。スタッフの間の意思疎通が円滑であれば預かるべきかどうかの相談もできるが、そうでないと一人の判断で思わぬリスクを抱え込むことが生じやすい。相互に最低限の対話しか成り立たないような人間関係では仕事にならない。不満や不公平に見える(実際は違うにしても)状況をそのままに放置しておく、売り場から活気が失われていく。現場の責任者にとってスタッフの管理はいかなる場合にも手を抜けない最優先ともいえるべき仕事である。

また「意識改革」というのもなかなかの問題である。ベテランのスタッフは経験値も高く阿吽の呼吸でこちらの意図を理解してくれる頼もしい戦力では

あるが、その積み上げられた経験が時代の変化の中では桎梏になることがある。従来のやり方に慣れている分仕事の変化には抵抗感が強い。不満が鬱積するのである。そしてその不満と付き合い抵抗を押し切っていくのが意識改革という仕事であるが、ベテランの処遇はプライドも絡んで一筋縄ではいかないのが普通である。

勤務シフトの作り方、残業の有無、社員とパートの仕事の線引き、本当にいろいろある。全く持って使う側にとって売り場は人間関係の戦場である。こちら側の意図が通る売り場を作っていくには命令や指示だけで事足りるとはいかない。日々生まれてくる外目には些細に見える人間的な事案をひたすら処理しながら走り続けるのが小売りの現実である。大きな会社なら人事異動という形で解決できるものが単独店舗ではその中で解決を図るしかない。

パワハラ、セクハラと働く側からの問題は提起されるが、スタッフを管理し監視し不平不満が極力少ない気持ちのいい職場、売り場に使う側の労力というものも考えられてしかるべきものである。

貧骨 (小売りの十字路より)



## 卓話 木村 明 会員 テーマ「新型コロナについて」

昨年2月に「新型コロナについて」話した時は、これは大変な病気だ、みんな死んじゃうからもうこの会には出ないで休みます。だったのですが、その後よく見てみると世界と比べると日本は死なないんですね。ヨーロッパ・米国の死亡者数のグラフがドーンと増えた時に、日本は下の方でしたし、今年の2月に感染者が凄く増えた時点でも死亡者数は少し上がった程度でした。

### 何故だか分かりませんが、大丈夫の理由は

- ①人種かもしれません。韓国・台湾・日本も同じく死亡率が低いのは、遺伝的な物かもしれません。
- ②コロナは、本来子どもの病気でした。風邪もコロナの一種です。それを受けて自分の中に抗体が出来ていて、その交差抗体(新型コロナもコロナも同じ様なもの)が新型コロナをやっつけるという事の可能性はある。
- ③また、有力な説はBCGワクチン接種です。BCGは、日本株・ロシア株・ヨーロッパ株の3種類ありまして、日本株が一番強いので、日本株を打っている国は大丈夫という訳です。ポルトガルとスペインは隣どおしの国ですが、スペインはBCG注射が強制ではありませんが、ポルトガルは全員打っています。両国の死亡率はかなり差があります。日本では全員がBCGを打っているのに、何故高齢者が死亡するのは、ツベルクリン反応が、年と共に陰性になっていくので

す。ここにいる人は、まだいいかな?年を取って行くこと陰性になりますのでお気を付けてください。

アメリカの死亡原因は、心臓病に次いで新型コロナ感染症が第3位ですが、日本の新型コロナ感染症死亡者は36位です。31位はインフルエンザで、よく似た死亡原因順位です。インフルエンザや新型コロナで死亡する人は高齢者が一番多いです。一番危惧するのは高齢者施設で、三国の施設が大変なことになりましたがワクチンが出ますので、もうちょっと待っていただければ、新型コロナ感染症も風邪と同じ扱いになります。報道によるとワクチン接種で21人にアナフラキシーショックが出たと騒いでいますが、誰も亡くなっていません。新型コロナでバタバタ亡くなっているのに、ワクチンでショックの人が出たと騒いでいるで、皆脅かされてワクチン接種を躊躇しています。マスコミに踊らされないよう気を付けましょう。

「ゼロコロナを目指す」とよく聞きますが、コロナはゼロにはできません。やはりウイズコロナで上手に住み分けをするのが大事です。お酒も飲みに行けません。病気が怖いのではなく、何かあった時言われるのが怖いです。ワクチン接種をしたら解決するでしょう。以上です。



## 卓話 酒井 芳則 会員 テーマ「青少年奉仕Web会議」

3月19日(金)に、ローターアクトとの夜間例会をしたとと理事会に回ることが決まりました。テーマは「ローターアクトの現状」で榎原ロータークラブのローターアクト委員長さんが来られるか、Web会議になるかして、お話をさせていただこうという提案を話そうと思っています。もし理事会で承認されましたら、久しぶりの夜間例会ですので、出席の程お願いしたいと思います。

### にこにこBOX報告

野中 敏昭 会員 卓話を楽しみに

瀧ヶ花 秀晃 会員 "

窪田 健一 会員 "

深見 泰和 会員 "

齋藤 多久馬 会員 "

梅田 吉臣 会員 "

大橋 良史 会員 "

西尾 俊一 会員 早退します



吉田 俊博  
ニコニコ委員長